

普及現地情報

発信年月日:令和8年(2026年)6月3日
所属名:高島農業農村振興事務所農産普及課
番号:H26006
発信者名:永見、三溝、山下、吉岡



ニホンザルの被害が予想されるブドウほ場におじろ用心棒を設置

高島市新旭町で令和7年植栽のブドウほ場では今年度から収穫が見込まれており、ニホンザル対策のため、おじろ用心棒の設置を支援しました。

新旭町饗庭地区はニホンザルが市街地に出没するなど被害が深刻な地域です。令和6年の「たかしま野菜・園芸塾ぶどうコース」の受講生が昨年3月、当地区にブドウ10aを新植されました。このたび収穫を控え獣害対策が必要であることから、農場の周囲約200mにおじろ用心棒の設置を支援しました。

設置後、通電確認をしたところ、漏電が発生しており電圧が上がりませんでした。原因を調査したところ、金網が線径2mmと細く、風などで金網が揺れると金網と電気線が接触して漏電することが分かりました。

そのため、揺れて漏電しそうな場所に筒状にしたトリカルネットをスペーサーとして設置することを提案したところ予定通りの電圧が確保できました。

市内ではブドウの栽培面積が拡大していますが、地域によりニホンザルのほかハクビシン等の中型獣の被害も懸念されることから、獣種に応じて簡易柵の設置を推進していきます。



おじろ用心棒の設置を支援



トリカルネットの筒を設置